

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5312935号
(P5312935)

(45) 発行日 平成25年10月9日 (2013. 10. 9)

(24) 登録日 平成25年7月12日 (2013. 7. 12)

(51) Int. Cl.

F I

G 0 6 Q 30/06 (2012.01)

G 0 6 Q 30/06 1 3 0

請求項の数 20 (全 22 頁)

(21) 出願番号	特願2008-519574 (P2008-519574)	(73) 特許権者	506244755
(86) (22) 出願日	平成18年6月28日 (2006. 6. 28)		ビージーシー パートナース, インコーポ
(65) 公表番号	特表2009-516868 (P2009-516868A)		レイテッド
(43) 公表日	平成21年4月23日 (2009. 4. 23)		アメリカ合衆国 ニューヨーク州 1 0 0
(86) 国際出願番号	PCT/US2006/025410		2 2 ニューヨーク イースト・フィフテ
(87) 国際公開番号	W02007/002843		ィーナインス・ストリート 1 1 0
(87) 国際公開日	平成19年1月4日 (2007. 1. 4)	(74) 代理人	100107766
審査請求日	平成21年6月29日 (2009. 6. 29)		弁理士 伊東 忠重
(31) 優先権主張番号	11/168, 253	(74) 代理人	100070150
(32) 優先日	平成17年6月28日 (2005. 6. 28)		弁理士 伊東 忠彦
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100091214
前置審査			弁理士 大貫 進介

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 注文優先度を販売及び取得するシステム及び方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アイテムを取引するシステムであって、

サーバ記憶装置と、前記サーバ記憶装置に接続されたサーバプロセッサとを有するサーバを有し、前記サーバ記憶装置は、前記サーバプロセッサを制御するサーバプログラムを格納し、

前記サーバプログラムは、前記プロセッサにより実行されたときに、前記サーバプロセッサに対して、

前記サーバと電子通信する対応する複数の取引端末を介して、複数の取引参加者から複数の取引注文を受信するように指示し、

取引を照合するための所定のアルゴリズムに従って前記複数の取引参加者の間で取引を照合するように指示し、

第1の取引注文が第2の取引注文よりスタックにおいて高い位置を有するように、優先度規則に従ってスタックの前記複数の取引注文のうち少なくとも第1及び第2の取引注文を構成するように指示し、

前記第1の注文に関連する優先度販売者から前記第2の注文に関連する優先度取得者に取引優先度の販売を行わせるように指示し、ただし、前記取引優先度は、取引を照合するための取引注文のスタックにおける取引注文の位置を示し、前記優先度販売者は前記スタックに第1の取引注文を有する取引者を含み、前記取引優先度の販売は、前記優先度販売者が前記取引優先度を前記優先度取得者に販売することに基づいて前記優先度販売者への

インセンティブを与えることを含み、

前記取引優先度の販売を行わせる動作に基づいて前記第 2 の取引注文の前記スタックの位置を変更するように指示するシステム。

【請求項 2】

前記取引を照合するための所定のアルゴリズムは、ヒット/リフト取引アルゴリズムであり、

前記第 2 の取引注文の前記スタックの位置を変更する動作は、前記第 2 の取引注文の位置を高い取引優先度の位置に移動することを有する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記取引を照合するための所定のアルゴリズムは、入来する注文及び見積りでマーケットメーカーと専門取引者と公の顧客との注文及び見積りを照合し、

前記サーバプログラムは、前記プロセッサにより実行されたときに、前記サーバプロセッサに対して、取引優先度の販売及び取得を行わせる動作に基づいて前記第 1 の取引注文の位置を変更するように更に指示する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記取引を照合するための所定のアルゴリズムは、価格及び時間優先取引アルゴリズムである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記取引を照合するための所定のアルゴリズムは、比例案分取引アルゴリズムである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記取引を照合するための所定のアルゴリズムは、見積り要求取引アルゴリズムである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記サーバプログラムは、前記プロセッサにより実行されたときに、前記サーバプロセッサに対して、取引優先度が取得に利用可能であることを示す情報を通信するように更に指示する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

複数のワークステーションを更に有し、

前記複数のワークステーションのそれぞれは、前記サーバと通信するように動作可能であり、

前記ワークステーションのそれぞれは、

ワークステーション記憶装置と、

前記ワークステーション記憶装置に接続されたワークステーションプロセッサとを有し、

前記ワークステーション記憶装置は、前記ワークステーションプロセッサを制御するワークステーションプログラムを格納し、

前記ワークステーションプログラムは、前記ワークステーションプロセッサにより実行されたときに、前記ワークステーションプロセッサに対して、

取引参加者に対してトランザクション情報を表示するように指示し、

取引優先度が取得に利用可能であることを示す情報を受信するように指示し、

前記複数の取引参加者に対して取引優先度が取得に利用可能であることを示す情報を表示するように指示する、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記取引優先度に関する前記トランザクション情報は、取引に利用可能な価格及びサイズを示すために表示される、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記取引優先度に関する前記トランザクション情報は、取引優先度が取得され得る入札側、購入側、売り出し側又は販売側の 1 つを示すために表示される、請求項 8 に記載のシステム。

10

20

30

40

50

【請求項 1 1】

前記販売者に与えられる前記インセンティブは、売買委託手数料の減少として提供される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 1 2】

前記販売者に与えられるインセンティブは、取引料金の減少として提供される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 1 3】

前記販売者に与えられるインセンティブは、決算料金の減少として提供される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 1 4】

前記販売者に与えられる前記インセンティブは、優先度取得者から調達される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 1 5】

優先度取得者から調達される前記インセンティブは、売買委託手数料の増加として提供される、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

優先度取得者から調達される前記インセンティブは、取引料金の増加として提供される、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

優先度取得者から調達される前記インセンティブは、決算料金の増加として提供される、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記優先度販売者による取引優先度の販売は、取引優先度を販売するための前記優先度販売者による指示なしに、前記優先度販売者の取引セッションの終了時に自動的に生じる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記優先度販売者による取引優先度の販売は、前記優先度販売者が取引優先度を販売する指示を送信することにより実施される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 2 0】

アイテムを取引する方法であって、
少なくとも 1 つのプロセッサにより、サーバと電子通信する対応する複数の取引端末を介して、複数の取引参加者から複数の取引注文を受信し、

前記少なくとも 1 つのプロセッサにより、取引を照合するための所定のアルゴリズムに従って前記複数の取引参加者の間で取引を照合し、

前記少なくとも 1 つのプロセッサにより、第 1 の取引注文が第 2 の取引注文よりスタックにおいて高い位置を有するように、優先度規則に従ってスタックの前記複数の取引注文のうち少なくとも第 1 及び第 2 の取引注文を構成し、

前記少なくとも 1 つのプロセッサにより、前記第 1 の注文に関連する優先度販売者と前記第 2 の注文に関連する優先度取得者との間で取引優先度の販売及び取得を行わせ、ただし、前記取引優先度は、取引を照合するための取引注文のスタックにおける取引注文の位置を示し、前記優先度販売者は前記スタックに第 1 の取引注文を有する取引者を含み、前記取引優先度の販売及び取得は、前記優先度販売者が前記取引優先度を前記優先度取得者に販売することに基づいて前記優先度販売者へのインセンティブを与えることを含み、

前記少なくとも 1 つのプロセッサにより、前記取引優先度の販売を行わせる動作に基づいて前記第 2 の取引注文の前記スタックの位置を変更することを有する方法。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、電子取引システム及び対応する方法に関する。

【背景技術】

【 0 0 0 2 】

電子取引システムは、買い手と売り手とが取引商品についての価格情報を共有する場所を提供し、これによって効率的な市場トランザクションを容易にする。売り手及び買い手は、価格及び量についての決定を通知されるように、市場情報へのアクセスを等しく許可され得る。ホストコンピュータは、注文の照合、注文控帳及び持ち高の管理、価格情報、取引が行われている間のデータベースの管理及び更新を含み、複数のアプリケーションを動作してもよい。例えば監査証跡の生成又は管理のように、他のデータ処理が取引の終了後に行われてもよい。更に、いくつかの取引インタフェース（アプリケーション・プログラム・インタフェース等）により、他のコンピュータがユーザの代わりに動作することが可能になってよい。このようなコンピュータは、プログラム取引用の統計モデルでプログラムされてもよい。取引は、反対の注文（すなわち、トランザクションの反対側での注文）の照合で行われてもよい。

10

【 0 0 0 3 】

電子取引システムの1つの重要な構成要素は、注文優先度である。注文優先度は、どの注文が1番目、2番目等に照合されるかをシステムが決定する機構である。規則的で市場効率のよいトランザクションを容易にするために、電子取引システムは、どの売り手及びどの買い手が所定の時間に相互に取引しすることができるかを決定するための規則又は規則の組み合わせを定めてもよい。優先度の規則は、価格、時間又は他の適切な基準に基づいてもよい。

【 0 0 0 4 】

20

典型的には、売り手及び買い手は、所定の種類の取引商品に入札及び売り出しを行う。各取引参加者は、選択された価格及び量で入札又は売り出しを行ってもよい。取引商品を購入したいと思う取引参加者からの最善又は最高の入札価格に優先度が与えられ、また、取引商品を販売したいと思う取引参加者からの最善又は最低の売り出し価格に優先度が与えられてもよい。複数の競合する注文が同じ価格でシステムに存在する場合、競合する注文の間で時間順に最も早いものに優先度が与えられてもよい。従って、入札及び売り出しの待ち行列（又は“スタック（stack）”）は価格及び時間順に構築する。

【 0 0 0 5 】

ある取引システムでは、待ち行列が形成されると、取引は、取引参加者の一部での積極的行動のみにより開始してもよい。このことは、場合によってヒット（hit）（すなわち、保留の入札の承認）及びリフト（lift）（又は“テイク（take）”）（すなわち、保留の売り出しの承認）の取引として知られる。ヒット及びリフト取引では、取引を成立させるために積極的行動を行う取引参加者（すなわち、この取引参加者は入札をヒットしてもよく、売り出しをリフトしてもよい）は、“能動的（active）”参加者として知られ得る。入札がヒットされた取引参加者又は売り出しがリフトされた取引参加者は、“受動的（passive）”参加者として知られ得る。取引のラインでのこのような能動的及び受動的参加者のうち最初のもは、ここでは“現在の”参加者と呼ばれ得る。現在の参加者は、他の参加者が取引を待機してスタックで列を作ったままの間に取引してもよい。

30

【 0 0 0 6 】

ある形式のヒット及びリフト取引の間に、能動的に入札をヒットした又は売り出しをリフトした最初の取引参加者に初期の優先度が与えられてもよく、取引の反対側の最初の受動的参加者に初期の優先度が与えられてもよい。従って、これらの取引参加者は、相互の間で更に取引を行い、次に、最初に取引に積極的に行動しなかった同じ側の他の参加者の前に反対側又は取引相手と取引を行ってもよく、また、取引の反対側で受動的に参加していなくてもよい。

40

【 0 0 0 7 】

ヒット及びリフト取引のある実施例では、取引が行われると、現在の参加者は、所定の期間又は他の適切な期間に更なる量を取引する優先度を与えられてもよい。初期の取引が行われたときに現在の参加者が更なる量を取引する機能を有するヒット及びリフトシステムは、米国特許第6,560,580号に詳細に記載されている。この文献の全てが参照として取

50

り込まれる。更なる期間は、排他的に期限付で現在の参加者を許可し、少なくとも1つの期間に現在の参加者がその価格で排他的に取引することを可能にする。

【0008】

初期の優先度が終了又は“完了”した現在の取引参加者の後に、取引は価格及び時間順又は“優先度”でスタックの下に続いてよい。価格及び時間優先度の取引は、時間で最も早く提示された同じ価格の注文に優先度を与える。

【0009】

典型的には、価格/時間優先度の取引参加者は、スタックの上の現在の優先取引位置まで移動しない可能性がある。現在の取引参加者がそれぞれの優先度から恩恵を受ける限り、スタックの残りの参加者は待機しなければならない。しかし、優先度が終了する前に現在の取引参加者がトランザクションを完了すると、価格/時間取引参加者が排他的な時間が経過するのをラインで待機するため、貴重な取引時間が浪費される可能性がある。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0010】

従って、現在の参加者ではない参加者が排他的に限られた取引の期間にアクセスすることを可能にするシステム及び対応する方法を提供することが望ましい。

【0011】

従って、取引（例えば、取得及び販売）の取引優先度をサポートする電子取引システム及び方法を提供することも望ましい。

【0012】

このような機能を提供する電子交換及び取引システムは、取引者が自分又は会社の収益又は採算性をかなり改善することを可能にし得る。このような優先度の状況が処理される技術的な方法から生じる前記の特性は、このような交換及びインタフェースを望ましくし得る。

【0013】

更に、このような機能を迅速且つ経済的に使用することにより、取引者が動きの速い市場で好機を最大化することを可能にし得る交換及び取引システムも望ましい。

【課題を解決するための手段】

【0014】

一態様では、別法では浪費されている間に取引しようとする参加者が排他的に限られた取引の期間にアクセスすることを可能にするシステム及び方法が提供される。

【0015】

更なる態様では、取引優先度の取得及び販売をサポートする電子取引システム及び方法が提供される。

【0016】

更なる態様では、初期のヒット及びリフト取引参加者が恩恵を受け得る限られた排他性に他の参加者が参加することを可能にするシステム及び方法が提供される。

【0017】

ここに開示されるシステム及び方法の一実施例では、特定の期間に取引参加者に優先度が与えられる。従って、優先度は、所定の時間フレーム内に特定のアイテムを購入又は販売する選択枝の特性を持つ。本来、選択枝は価値であるため、価値について取得又は販売可能である。

【0018】

前記の電子取引システムの少なくとも1つの実施例では、サーバプログラムを格納する記憶装置と、ここに開示される優先度販売者及び優先度取得者を含み、複数の取引参加者の間で優先度の販売及び取得を取引又は支援するようにサーバプログラムを実行する1つ以上のサーバプロセッサとを備えるサーバを有する。

【0019】

サーバは、サーバと通信するように、通信ネットワークで1つ又は複数のワークステー

10

20

30

40

50

ションに結合されてもよい。ワークステーションは、記憶装置と、記憶装置に接続されたプロセッサとを有する。記憶装置は、ワークステーションプロセッサを制御するワークステーションプログラムを格納する。ワークステーションプロセッサは、(a)取引参加者への優先度に関するトランザクション情報をサーバから受信してワークステーションに表示し、(b)選択価格又は量／数量で第1の取引参加者により入力された入札又は売り出しを受信してサーバに通信し、(c)第2の参加者により入力されたコマンドに従ってトランザクションを実行し、選択価格及び／又は数量でアイテムを取引し、(d)第1及び第2の取引参加者が選択価格で量を取引し続けることを可能にし、(e)第1及び第2の取引参加者が優先度を販売することを可能にし、(f)次の取引参加者が優先度を取得することを可能にするように、ワークステーションプログラムで動作してもよい。決済センタがサーバと通信するように動作してもよく、決済センタは、記憶装置と、決済プロセッサを制御する決済プログラムを格納する決済記憶装置に接続された少なくとも1つのプロセッサとを有する。決済プロセッサは、トランザクションが完了及び決済され、トランザクションが完了及び決済されたことを確認させるように、決済プログラムで動作してもよい。

【0020】

前記の電子取引方法の一実施例は、(1)少なくとも1つのサーバプロセッサを制御するサーバプログラムを格納するステップと、(2)少なくとも1つのワークステーションプロセッサを制御するワークステーションプログラムを格納することを有する複数のワークステーションによりサーバと通信するステップと、(3)取引参加者に対して取引優先度に関するトランザクション情報を表示するステップと、(4)選択価格又は量で第1の取引参加者により入力された入札又は売り出しを受信するステップと、(5)第2の参加者により入力されたコマンドに従ってトランザクションを実行し、選択価格でアイテムを取引するステップと、(6)第1及び第2の取引参加者が選択価格で量を取引し続けることを可能にし、(7)第1及び第2の取引参加者が優先度を販売することを可能にし、(8)次の参加者が優先度を取得することを可能にし、(9)トランザクションが完了及び決済され、トランザクションが完了及び決済されたことを確認させるように決済プロセッサを制御する決済プログラムを格納する決済センタによりサーバと通信するステップとのうち1つ以上のステップを有する。

【0021】

前記の電子取引システムの一実施例は、実行されたときに、(1)少なくとも1つのサーバプロセッサを制御するサーバプログラムを格納するステップと、(2)ワークステーションプロセッサを制御するワークステーションプログラムを格納することを有する複数のワークステーションによりサーバと通信するステップと、(3)取引参加者に対して取引優先度に関するトランザクション情報を表示するステップと、(4)選択価格又は量で第1の取引参加者により入力された入札又は売り出しを受信するステップと、(5)第2の参加者により入力されたコマンドに従ってトランザクションを実行し、選択価格でアイテムを取引するステップと、(6)第1及び第2の取引参加者が選択価格で量を取引し続けることを可能にし、(7)第1及び第2の取引参加者が優先度を販売することを可能にし、(8)次の参加者が優先度を取得することを可能にし、(9)トランザクションが完了及び決済され、トランザクションが完了及び決済されたことを確認させるように決済プロセッサを制御する決済プログラムを格納する決済センタによりサーバと通信するステップとのうち1つ以上のステップを有する方法を実行する格納されたソフトウェアを備えるコンピュータ可読媒体を有する。他の態様では、アイテムを取引するシステムが提供され、サーバ記憶装置と、サーバ記憶装置に接続されたサーバプロセッサとを有するサーバを有し、サーバ記憶装置は、サーバプロセッサを制御するサーバプログラムを格納し、サーバプロセッサは、取引アルゴリズムに従って複数の取引参加者の間で取引注文を照合するようにサーバプログラムで動作可能であり、サーバプロセッサは、取引注文の照合の際に複数の参加者のうち少なくとも1人の参加者の取引注文に取引優先度を提供し、少なくとも1人の参加者から未使用の優先度を取得する少なくとも1人の他の参加者に未使用の優先度を取引し、未使用の優先度を取引するインセンティブを少なくとも1人の参加者に提供するようにサーバ

ログラムで更に動作可能である。一実施例では、アイテムを取引するシステムは、ヒット／リフト取引アルゴリズムである取引アルゴリズムを使用する。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、入来する注文及び見積りでマーケットメーカーと専門取引者と公の顧客との注文及び見積りを照合する取引アルゴリズムを使用する。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、価格及び時間優先取引アルゴリズムである取引アルゴリズムを使用する。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、比例案分取引アルゴリズムである取引アルゴリズムを使用する。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、見積り要求取引アルゴリズムである取引アルゴリズムを使用する。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、取得に利用可能な取引優先度の指示を出力するようにサーバプログラムで更に動作可能である。他の実施例では、サーバコンピュータは、通信ネットワークで複数のワークステーションに結合され、複数のワークステーションのそれぞれは、サーバと通信するように動作可能である。ワークステーションのそれぞれは、ワークステーション記憶装置と、ワークステーション記憶装置に接続されたワークステーションプロセッサとを有し、ワークステーション記憶装置は、ワークステーションプロセッサを制御するワークステーションプログラムを格納し、ワークステーションプロセッサは、取引参加者に対してトランザクション情報を表示し、取得に利用可能な取引優先度の指示を受信し、複数の取引参加者に対して取得に利用可能な取引優先度の指示を表示するように、ワークステーションプログラムで動作可能である。一実施例では、取引優先度に関するトランザクション情報は、取引に利用可能な価格及びサイズに関する指示として表示される。一実施例では、取引優先度に関するトランザクション情報は、優先度が取得される入札側、購入側、売り出し側又は販売側の1つに関する指示として表示される。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、インセンティブを提供し、販売者に与えられるインセンティブは、売買委託手数料の減少として提供される。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、インセンティブを提供し、販売者に与えられるインセンティブは、取引料金の減少として提供される。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、インセンティブを提供し、販売者に与えられるインセンティブは、決算料金の減少として提供される。他の実施例では、アイテムを取引するシステムは、インセンティブを提供し、販売者に与えられるインセンティブは、優先度取得者から調達される。一実施例では、優先度取得者から調達されるインセンティブは、売買委託手数料の増加として提供される。一実施例では、優先度取得者から調達されるインセンティブは、取引料金の増加として提供される。他の実施例では、優先度取得者から調達されるインセンティブは、決算料金の増加として提供される。他の実施例では、アイテムを取引するシステムで、少なくとも1人の優先度販売者による取引優先度の販売は、初期設定による。他の実施例では、アイテムを取引するシステムで、少なくとも1人の取引販売者による取引優先度の販売は、この優先度販売者が優先度を販売する指示を送信することにより実施される。また、アイテムを取引する対応する方法と、実行されたときにこの方法を実行する格納されたソフトウェアを有するコンピュータ可読媒体とが提供される。

【発明を実施するための最良の形態】

【0022】

本発明の更なる機能、その性質及び様々な利点は、添付図面と共に好ましい実施例の以下の詳細な説明から明らかになる。図面において、同様の参照符号は図面を通じて同様の部分を示す。

【0023】

取引優先度は、取引参加者（優先取引位置を享受している取引参加者、及び標準的な優先度規則を外れた優先度を取得して、購入又は販売リストでそれぞれの位置を向上しようとする取引参加者）に対して価値を有する。他方、取引優先度は他の取引参加者（例えば、優先度を享受しているが取引を終了している取引参加者、又は優先度を認識又は利用しない可能性があるアプリケーション・プログラム・インタフェース（API）を介した自動プログラムを介して取引モデルに接続する取引参加者）には価値がない。優先度へのこれらの異なる関心は、取引優先度の販売及び購入についての市場を作っており、取引優先度

10

20

30

40

50

を使用しない参加者は、未使用の優先度を購入又は取得して引き換えに代価又は他のインセンティブを受領したいと思う参加者に対して未使用の優先度を効果的に販売又は取引することができる。

【 0 0 2 4 】

一実施例では、取引を完了した取引参加者は、未使用の優先度を販売し、優先度と交換に、売買委託手数料又は委託料、決算料金、取引システム料金等のような取引料金の価格減少に関する代価を受領する。他の取引参加者も同様に、売買委託手数料、決算料金、取引システム料金等のような取引料金の増加の形式で代価を払うことにより、取引参加者の未使用の優先度を取得し、例えば、購入又は販売スタックのそれぞれの位置を向上し、これによって早く取引する機会を増加させてもよい。

10

【 0 0 2 5 】

優先度に対する要求を示したユーザ又はアイテムを取引したいと思うユーザの例は、米国特許出願第10/678,582に記載されており、この文献の全てが参照として取り込まれる。このような要求は、スタックの上に移動するため、購入のために少し多く支払うことを選択したユーザ、又は販売のために少し少なく受領することを選択したユーザ（場合によっては“価格改善（price improvement）”又は“PI”として知られる）に帰属するものとして特定される。価格改善を使用することを選択した取引参加者は、支払った参加者が取引を実行する機会を向上するために、これを行っていない他人のスタックの上に移動してもよい。余分の売買委託手数料等の形式で未使用の優先度を取得するために代価を払わない取引参加者は、“通常のユーザ”として知られ得る。

20

【 0 0 2 6 】

ここで説明する概念を容易に定めるために、取引参加者の以下の定義がこの説明で使用される。それにもかかわらず、ここに開示される本発明は、これらの特定の取引参加者に限定されず、何らかの適切な取引参加者に適用され得る。

【 0 0 2 7 】

a) マーケットメーカー：通常の入札及び売り出しを行うことにより取引商品をサポートし、その商品での流動性をサポートする取引参加者。商品は、株式、債権、オプション、社債、利権証券、証券担保証書、前組織証券（preorganization certificate）又は新株引受け権、譲渡可能株式、投資契約、議決権信託証券、預金証券、プット（put）、コール（call）、ストラドル（straddle）、オプション、何らかの担保についての権利、預金証券、担保のグループ若しくはインデックス、外貨に関する国債交換で入力された権利、金融派生商品、スワップ、ワラント等のような金融商品又は担保でもよい。ここに開示される方法及びシステムは、一例としてこのような金融商品又は担保でのトランザクションに関して説明されることがあるが、この方法及びシステムは、商品又はサービスのような他のアイテムのトランザクションでの取引優先度にも同様に適用可能であり、従って、この点に限定されない。

30

【 0 0 2 8 】

b) 優先度販売者：未使用の優先度を取引するための何らかの適切な動作により意思を示す取引参加者。優先度販売者は、ここに説明する未使用の優先度を取引する機能を提供された如何なる参加者でもよい。優先度販売者はまた、優先度の規則を認識及び利用しない可能性のあるAPIを使用する電子取引システムで取引するAPI参加者でもよい。これらの場合に、API参加者は、他の取引参加者への基礎となるトランザクションでAPI参加者により既に取り引された量について、例えば低い取引料金又は売買委託手数料の形式で、自動的又は別法で使用不可能な未使用の優先度を代価で取引することを選択してもよい。“量（volume）”という用語は、特に指定されない限り、“数量（quantity）”と同義語として使用される。

40

【 0 0 2 9 】

c) 優先度取得者：優先度販売者により利用可能にされたときに、未使用の取引優先度を取得するための何らかの適切な動作により意思を示す取引参加者。この例は、(1) 価格改善を使用する取引参加者と、(2) 余分の売買委託手数料を支払う取引参加者と、(3) マーケ

50

ットメーカーとを含むが、これらに限定されない。

【 0 0 3 0 】

図 1 を参照すると、ここに開示される方法を実施する例示的なシステム 100 が図示されている。図示のように、システム 100 は、1 つ以上のワークステーション 101 を有してもよい。ワークステーション 101 は、ローカルでもよくリモートでもよく、1 つ以上の通信リンク 102 によりコンピュータネットワーク 103 に接続される。コンピュータネットワーク 103 は、通信リンク 105 を介してサーバ 104 に連結される。サーバ 104 は、通信リンク 110 を介してバックオフィス決済センタ 112 に連結される。

【 0 0 3 1 】

システム 100 において、サーバ 104 は、何らかの適切なサーバ、プロセッサ、コンピュータ、若しくはデータ処理装置、又はこれらの組み合わせでもよい。サーバ 104 及びバックオフィス決済センタ 112 は、電子取引システムの一部を形成してもよい。更に、サーバ 104 はまた、実行されたときに、アイテムと何らかの未使用の優先度とを取引するユーザのユーザワークステーションでグラフィカル・ユーザ・インタフェース又は他の表示画面をデータ入力フィールドと共に表示させること及び／又は送信することを含み、ここに記載のバックエンド機能を提供する電子取引システムアプリケーション及び／又はアプリケーション・プログラム・インタフェース (API) を有してもよい。同様に、ソフトウェアは、ワークステーション 101 でグラフィカル・ユーザ・インタフェースを表示することを含み、フロントエンド機能を提供するワークステーション 101 に格納されてもよい。

【 0 0 3 2 】

コンピュータネットワーク 103 は、インターネット、イントラネット、広域ネットワーク (WLAN)、ローカルエリアネットワーク (LAN)、無線ネットワーク、デジタル加入者線 (DSL) ネットワーク、フレームリレーネットワーク、非同期転送モード (ATM) ネットワーク、仮想プライベートネットワーク (VPN) 又はこれらの何らかの組み合わせを含み、如何なる適切なコンピュータネットワークでもよい。通信リンク 102 及び 105 は、ネットワークリンク、ダイヤルアップリンク、無線リンク、配線リンク等のように、ワークステーション 101 とサーバ 104 との間でデータを通信するのに適した如何なる適切な通信リンクでもよい。

【 0 0 3 3 】

ワークステーション 101 は、パーソナルコンピュータ、ラップトップコンピュータ、メインフレームコンピュータ、ダム端末、データディスプレイ、インターネットブラウザ、携帯情報端末 (PDA)、双方向ページャ、無線端末、ポータブル電話、メモリを有するプログラム済コンピュータ、取引モデルを実装するためにメモリを使用するプログラム済コンピュータ等、又はこれらの何らかの組み合わせでもよい。ワークステーション 102 は、本発明による電子取引システムアプリケーション及びアプリケーション・プログラム・インタフェースを実施するために使用されてもよい。

【 0 0 3 4 】

バックオフィス決済センタ 112 は、トランザクションを決済させ、及び／又はトランザクションが決済されたことを確認するためのコンピュータ、ラップトップコンピュータ、メインフレームコンピュータ等、又はこれらの何らかの組み合わせのような如何なる適切な装置でもよい。通信リンク 110 は、ネットワークリンク、ダイヤルアップリンク、無線リンク、配線リンク等のように、サーバとバックオフィス決済センタ 112 との間でデータを通信するのに適した如何なる通信リンクでもよい。

【 0 0 3 5 】

図 1 に図示されているサーバ 104、バックオフィス決済センタ 112 及びワークステーション 101 の 1 つは、図 2 に詳細に図示されている。図 2 を参照すると、ワークステーション 101 は、プロセッサ 201 と、ディスプレイ 202 と、入力装置 203 と、メモリ 204 とを有してもよい。これらは相互接続されてもよい。好ましい実施例では、メモリ 204 は、プロセッサ 201 を制御するワークステーションプログラムを格納する記憶装置を有する。記憶装置は、ハードディスク、光ディスク等のような適切な記憶媒体に格納されたソフトウェアを有して

10

20

30

40

50

もよい。メモリ204はまた、実行されると、未使用の優先度を取引することに関してここに開示される機能の一部又は全部を提供する電子取引システムアプリケーション216を有してもよい。

【0036】

電子取引システムアプリケーション216は、アプリケーション・プログラム・インタフェース215を有してもよく、代替として、前述のように、電子取引システムアプリケーション216は、単独で又はワークステーション101に格納されたソフトウェアと組み合わせて、未使用の優先度を取引することに関してここに開示した機能の一部又は全部を提供するように、サーバ104のメモリに存在してもよい。この実施例では、取引システムは、ここに含まれてもよい電子取引システムアプリケーション216からの別個のアプリケーションとして、アプリケーション・プログラム・インタフェース215を有してもよい。ユーザへの分配は、ユーザが相互作用し（例えば、入札及び売り出し、RFQ、取引コマンド等を通信する）、サーバ104に存在する電子取引システムアプリケーション216で優先度等を取引又は購入することを可能にするグラフィカル・ユーザ・インタフェースでもよい。

10

【0037】

プロセッサ201は、通信リンク102を通じて受信した市況に関する電子取引システムアプリケーション情報と、ワークステーション101のユーザにより送信されて実行するためにサーバ104により受信される代価及び取引コマンドとをディスプレイ202に提示するために、ワークステーションプログラムを使用する。更に、コマンド及び代価が電子取引システム及び/又はサーバ104に通信されるように、手動でコマンド及び代価を入力するために入力装置203が使用されてもよい。

20

【0038】

〔初期設定による優先度販売〕

以下では、ここに開示される方法及びシステムの少なくとも1つの実施例に従って実装され得る特定の優先度推移規則を規定する。優先度規則は、実行されたときに、ここに開示される機能を提供するサーバ104、ワークステーション101又はこれらの組み合わせに格納されたソフトウェアで実施されてもよい。

【0039】

一実施例では、取引参加者は、未使用の優先度を有するときに、未使用の優先度が次に希望する優先度取得者に自動的に販売されるように初期設定の取引パラメータを設定してもよい。初期設定は、ワークステーション101から送信され、参加者が初期設定位置を指定するためのフォーム要素を備えた何らかの適切なインタフェース画面を使用してサーバ104により受信されてもよい。一般的に、ここに開示される取引システムは、少なくとも1つのアイテムを取引するために複数の注文を受信する。注文は、価格、数量、量、受信時間等のような注文の詳細と共に注文のデータベースに格納される。“注文”という用語は、ここでは一般的に取引の意思を示す何らかの形式を示すために使用され、入札、売り出し、見積り要求等を含んでもよい。注文は、行動する潜在的な相手側参加者に通信されてもよく、反対の注文と照合されて自動的に実行されてもよい。いずれの場合でも、価格又は他の条件により照合した注文の成功は、参加者により手動で開始されていても、システムにより自動で開始されていても、一般的に優先取引セッションの開始を伝達する。初期設定での優先度販売者が取引参加者の列の最初にある場合、以下の取引優先度の規則が優先取引セッションで実施されてもよい。

30

40

【0040】

(i)取引の如何なる最初の参加者についても、システムは参加者のトランザクション毎に“優先度販売者ラベル”又は単に“ラベル(tally)”を格納してもよい。

【0041】

ラベルは、参加者及び/又はトランザクション/取引セッション特有でもよく、それぞれ基礎となる優先トランザクション又は延長した優先トランザクションの間の各参加者により取引される量を記録して反映してもよい。しかし、システムは能動的取引パラメータを変更しない（すなわち、能動的優先取引の期間が生じるまで販売優先度に関して何も異

50

なることが行われぬ)。

【 0 0 4 2 】

(ii)取引参加者が指定の入札数量又は既存の売り出しより高い数量の入札をヒットした場合、その能動的参加者及び受動的な反対の参加者は、これらの間の排他的な期間を含み、取引の権利を有する現在の参加者になる。システムは、各参加者のラベル及び/又はトランザクション/取引セッションのラベルに、当時に現在の参加者により実行される初期の取引の数量を反映する量を追加することにより、現在の参加者に関して優先度販売者ラベルを更新してもよい。次に、ラベルはまた、次に延長した優先取引セッション又は継続中の優先取引セッションの間に、当時に現在の参加者と、例えば優先度を取得することにより現在の参加者になる何らかの次の優先度取引者との間で取引されているアイテムの取引数量を反映してもよい。一実施例では、各参加者がそれぞれの優先度を失ったときに、ラベルはゼロにリセットされてもよい。他の実施例では、未使用の優先度は各参加者により累積的に管理されてもよい。この場合、ラベルは、取引日の期間中又は長い期間に実行された取引からの数量を含めるように格納及び更新されてもよい。

10

【 0 0 4 3 】

(iii)取引の横取りで、現在の参加者が優先度販売者である場合、参加者は従来の方法で優先度を享受し続けてもよい(例えば、反対側で取引に利用可能であり、優先度販売者が希望するだけの量又は数量を取引する)。一般的に、システムは、非優先参加者の注文が優先取引セッションの間に実行されることを妨げる。この場合、以下の3つのシナリオが生じ得る。優先度販売者は、(1)例えば延長したトランザクションで優先度販売者の位置を受け取る優先度取得者が取引の同じ側に存在しない場合、現在の参加者として続けて、取引システムと取引を続けてもよく、(2)次に優先度販売者と同じ側で取引に参加する最初の優先度取得者に未使用の優先度を取引してもよく、(3)例えば、取引セッションが終了することを選択したため、又はセッションがタイムアウトしたため、終了又は“完了”してもよい(優先度期間は取引論理のタイミングに従って終了する)。いずれかのこれらのシナリオは、手動で、取引システムにより自動で、又はこれらの組み合わせで実行される1つ以上のステップでもよい。この実施例では、優先度の販売の成功が行われなかったときに、トランザクションについての現在の参加者の優先度販売者ラベルは、ゼロにリセットされてもよい。

20

【 0 0 4 4 】

(iv)取引優先度の条件が存在し、優先度販売者が取引する更なるアイテム又は単位を残していない場合、次の優先度取得者は、現在の参加者として優先度販売者に取って代わってもよい。このことが生じると、優先度販売者は、“完了”になるものとして指定されてもよく、このため、販売又は購入スタックから削除されてもよい。取引システムは、優先度販売者から残された優先度の機会及び時間を継承する優先度取得者を優先度販売者の位置に配置する。

30

【 0 0 4 5 】

(v)取引する更なるアイテム又は単位を依然として有し、次に優先度販売者と同じ側で取引に参加する優先度取得者は、優先度販売者が未取引の単位又は注文残高を依然として有する間に、優先度販売者と並行して現在の参加者になることを許容されてもよい。次に優先度販売者から取引される更なる量が存在しない場合、システムは、取引のその側での単一の現在の参加者として優先度取得者を配置し、“完了”されない何らかの能動的な反対の現在の量を直ちに取引し、取引に残された優先度の機会及び時間を何でも享受してもよい。優先度販売者により取引について次に提示される何らかの量は、取引の間ではあるが優先度が優先度取得者に移転された後に、優先度販売者が優先度取得者に有効に優先度を渡したことに従って、システムにより価格及び時間の優先順で購入又は販売スタックの最後に配置されてもよい。

40

【 0 0 4 6 】

(vi)延長したトランザクションについての優先度取得者ラベルは、その時点の前に取引された量を含めず、優先度取得の後に、延長した取引セッションへの優先度取得者の参加

50

期間中に、優先度取得者により取引される量を含めるように更新される。

【 0 0 4 7 】

(vii) 優先度取得者が依然として現在の参加者である間に何らかの反対の参加者の優先度が終了した場合、優先度取得者は、取引を待っているが、優先度取引規則に従って前に取引から保留されている他の反対側の参加者と取引を続けてもよい。

【 0 0 4 8 】

(viii) 一実施例では、取引（又は取引の照合）が特定の価格レベルで終了した後に、優先度販売者は、料金が取引のサイズに基づくものであっても、他のものであっても、優先度の販売の結果として、例えば取引についての売買委託手数料又は他の取引料金の減少の形式で、インセンティブを受領する。優先度販売者の取引についての売買委託手数料又は他の取引料金は、次のうちのうち小さい方に少なくとも基づいて制限され得る量に適用される100万毎に1ドルの率のような所定の率で減少してもよい。すなわち、1) 優先度販売の前の取引を反映する優先度販売者ラベル（未使用の取引優先度が優先度取得者に渡される前に優先度販売者が取引した量）、2) 優先度取得の後に取引された優先度取得者の量のラベル（優先度取得者が未使用の取引優先度を取得した後及び／又は結果として優先度取得者が次に取引した量）、及び3) 取引システムが優先度販売者の取引に適用し得る売買委託手数料又は他の取引料金の実際の瞬時量である。料金はまた、優先度取得者の優先度の終了後に優先度取得者により取引された量に制限されてもよく、これを反映してもよい。

【 0 0 4 9 】

例えば、初期設定の優先度販売者“PV1”は、アイテムの数量について買値を付ける。

10百万（以下では“m”）単位について100.12

通常のユーザRU1は、同じ価格レベルで買値を付ける。

2百万単位について100.12

反対の取引参加者CT1は、同じ価格レベルで売値を付ける。

14百万単位について10.12

この例では、CT1はヒットしてもよく、システムは、双方の入札を自動的に照合して実行してもよく、まずPV1に販売して次にRU1に販売し、双方の購入希望を満たし、2百万単位が販売に残される。PV1は、CT1の残りの未販売の単位をカバーするために、PV1が更なる単位に入札していない場合であっても取引優先度を保持する。PV1は、CT1から利用可能な余分の2百万単位を取引するための非優先度の入札に続いて、PV1が使用し得る又はPV1の入札に適用し得る未使用の優先時間を有する。優先度は、時間の実際の受け渡し、優先セッションの開始又は終了を起動するために使用され得る他のイベント、又はこれらの組み合わせにより測定されてもよい。例えば、優先度は、優先参加者が入札をヒットした時間又は売り出しを受け取った時間に始まり、その後の何らかの所定の時間に終了してもよい。この場合、未使用の優先度は、優先度取得者に渡される未使用の時間の形式でもよい。代替として又は更に、優先度は、優先参加者が入札をヒットした時間又は売り出しを受け取った時間に始まり、参加者が優先度を終了することを選択したとき、又は参加者が優先度の終了を起動する取引を実行したときに、何らかの特定の参加者について終了してもよい。例えば、優先度は、参加者が反対の位置で数量を取引し、最終的にいずれかの参加者のトランザクションの後に未販売の株式を残していない場合に、その参加者について終了してもよい。

【 0 0 5 0 】

参加者が取引を始めると、現在の参加者は、優先取引状態になり、そこで生じるトランザクション（すなわち、優先トランザクション）はその結果として特定又はタグ付けされてもよい。優先度が初期の優先参加者又は初期の優先トランザクションを超えて延びる場合、優先状態は、延長状態にあるものとしてみなされてもよく、この状態で生じる何らかのトランザクションは、延長したトランザクションとしてみなされてもよく、第2の優先取引トランザクション、第3の優先トランザクション等としてタグ付けされてもよい。参加者の入札若しくは売り出し又はその位置が、初期の優先トランザクション又は何らかの次の優先トランザクションの一部を形成する場合、入札又は売り出しは、スタックの第1

10

20

30

40

50

の位置又は優先位置に配置される。優先度の利益を享受しないスタックの次の入札及び売り出しは、スタックの第2、第3等の非優先位置に配置されてもよい。取引セッションのスタックでの非優先位置での注文は、一般的に非優先取引状態になる。非優先位置は、一般的に価格及び時間により並べられる。この例を振り返ると、以下のように優先トランザクションの詳細又は優先取引セッションの概要を示すインタフェース画面が表示されてもよい。

100.12 HIT 12 0X2

このリストは、初期又は他の優先トランザクションがスタックの優先位置にあり、12百万単位の注文が100.12の価格レベルで取引されたことを示している。価格及び数量のデータの隣に表示された1X2の行列の0の側は、スタックの優先位置で入札側に残っている数量を示し、2の側は、スタックの優先位置の売り出し側に残っている数量を示し、双方とも百万単位で表されている。一般的に、優先位置は、初期及び延長のトランザクションの間に優先参加者の間で取引されたアイテムの量を追跡する。

【0051】

他の通常のユーザ“RU2”が5百万単位で100.12を入札すると、画面は更に以下のように示してもよい。

100.12 HIT 12 0X2

5

RU2の入札は、PV1が取引優先度を有し続ける時間の間に、優先位置の下に示されており、5百万単位でのRU2の入札がスタックの第1の非優先位置にあることを示している。RU2の注文は、優先位置の注文又は当時に現在の優先参加者の注文の後に優先度を有することがわかる。このことは、購入側の0の継続する存在又は表示と、優先位置のレベルから空間的に離れた5百万の配置とにより示される。同様に、他の通常のユーザ“RU3”がRU2より遅い時間に3百万単位を購入する入札を行う場合、RU3の入札は、空間的に優先位置で始まり、第1の非優先位置に続き、次に第2の非優先位置に続くように表示されるスタックで第2の非優先位置になってもよい。

【0052】

優先位置で取引されるものと同じ価格レベル（例えば6百万単位で100.12）で入札する優先度取得者ユーザ“PA3”にPV1が優先度を販売すると、システムは、スタックの優先位置でPV1とPA3とを交換する。PV1は自分の優先位置を取引したため、PV1のラベルは、PV1により購入された10百万単位になり、時間優先度についてPV1により実行される量はPA3に渡される。これは、PV1により取引された未使用の優先度を反映するように、例えば取引料金の減少を計算するため、又はPV1の未使用の優先度に関連する他の代価を計算するために使用されてもよい。

【0053】

PV1から優先度を取得した結果として、PA3は、優先位置を5百万単位についてのRU2の入札の前に進め、販売中の残りの2百万を購入する。この時点でのPA3のラベルは、延長したトランザクションでPA3により実行される量である2百万単位になる。トランザクションのラベルは14百万単位になる。

【0054】

画面は、以下のようにPA3のトランザクションを反映するように更新されてもよい。

100.12 HIT 14 4X0

5

3

このリストは、14百万単位が取引セッションで実行され、4百万単位がスタックの優先位置の入札側に残っており、5百万単位がスタックの第1の非優先位置に残っていることを示している。RU2の5百万単位の入札より遅い時点で行われたRU3の3百万単位についての入札のように、高い価格レベルで後の時点で受信された注文から生じた優先位置を含み、更なる優先位置が続いてもよい。CT1がその優先度で取引していないため、CT1は、更なる単位をPA3の残りの入札残高（すなわち、スタックの入札側での依然として未解決の4百万単

10

20

30

40

50

位)に合うように更なる単位を販売するための取引優先度を有してもよい。

【 0 0 5 5 】

一実施例では、優先トランザクションの何らかの参加者が、例えば入札側の不均衡から売り出し側の不均衡に又はその逆に、スタックの優先位置での入札側と売り出し側との間の均衡を変えることを生じない量で取引されているアイテムを購入又は販売すると、その特定の参加者の優先度は、終了したとしてタグ付けされてもよい。例えば、CT1が1百万単位を販売すると、CT1は売り出し側の不均衡から中間又は入札側の不均衡に優先位置を変えるように、保留の購入注文で残りの4百万単位の全てのサイズを少なくとも販売していないため、CT1は終了又は“完了”したとみなされてもよい。これによってCT1の取引優先度が終了する。この場合、インタフェース画面は、連続するトランザクションで合計15百万が取引され、スタックの優先位置の11百万単位、3百万単位及び非優先位置の8百万単位について少なくとも3つの入札が存在し、スタックの第3の非優先位置に1百万単位について相手の参加者“CT2”から少なくとも1つの売り出しが存在することを示してもよい。

10

```
100.12 HIT 15 3X_
          5
          3
          1
```

このリストは、15百万単位が取引セッションで取引され、PA3(当時の優先参加者)が優先取引セッションで更に3百万単位を購入する優先度を有し、RU2は5百万を購入する注文を有しており、RU3は3百万単位を購入する注文を有していることを示しており、それぞれ注文の優先度に従って(例えば、相互に下部に)表示される。CT1は優先度を有していないため、取引の販売側に取引優先度を有する参加者は存在せず、優先スタックの売り出し側は、このようなことを示すように空白になっている。優先取引セッションはこの時点で終了してもよく、優先取引は残りの参加者に与えられた優先度で継続してもよい。後者の場合には、スタックでの次の反対の参加者の位置(例えば、第3の非優先位置)は、優先位置で注文残高を満たすために使用されてもよい。反対の参加者も同様に、ここで説明した優先度を与えられ、これにより、非優先参加者を現在の参加者又は優先参加者の状態に上げてよい。

20

【 0 0 5 6 】

例えば、CT2が1百万単位を販売すると、インタフェース画面は、以下のようなスタックを表示してもよい。

30

```
100.12 HIT 16 2X_
          5
          3
```

このリストは、16百万単位が延長したトランザクションで取引され、PA3がスタックの優先位置に更に2百万単位の入札を有し、RU2は第1の非優先位置で5百万単位の入札を有し、RU3は3百万単位の入札を有していることを示しており、それぞれ優先度の順に記載されている。優先スタックの売り出し側は空白であり、取引の販売側に更なる販売者又は取引優先度が存在しないことを示す。PA3の優先度取得者ラベルは、4百万になる。前記の例は、インタフェースでの表示に関して表されているが、取引システムは、ここで説明した取引セッションの関連の位置及びラベルを追跡記録し、後の使用又は表示のためにデータを格納してもよいことがわかる。

40

【 0 0 5 7 】

この例のこの時点(すなわち、取引セッションの終了時)に、PV1は、自分の取引の終了時に10百万単位の優先度販売者ラベルを有している。PV1の優先度をPA3に移行した結果、PA3は、PV1から優先度を取得しなければ実現できなかった4百万単位の更なる量を取引することができる。従って、PV1は、そうでなければPV1が10百万単位に対して支払う売買委託手数料又は取引料金に対して、又は6百万ではなく4百万単位に対してのみ適用される割引を受領してもよい。すなわち、PV1の優先度に提供される割引は、優先度取得者のラ

50

ベルにより制限されてもよい。優先度取得者のラベルは、前記の例では4百万単位である。他方、PA3は、PV1からの優先度取得の結果として取引された量（この例では4百万単位（PA3により取引された全体の量））について余分の売買委託手数料又は取引料金を支払ってもよい。代替として、PA3は、米国特許出願第10/678,582号に開示された価格改善の形式で、取引された量について価格で少し多く支払ってもよい。この文献の全てが参照として取り込まれる。

【0058】

ここに開示された優先度取引は、例えば証券取引所で例えばマーケットメーカーと専門取引者と公の顧客との注文及び見積りを照合する自動システムを含み、他の形式の電子取引システムにも適用されてもよい。マーケットメーカーは、特定の期間中又は取引システムの催促により臨時に必要な場合に、担保で入札と売り出しとの間を管理する特定の義務を有する交換の専門のユーザでもよい。

10

【0059】

専門取引者は、交換での流動性を管理することに対して責任のない、マーケットメーカーと同じ専門の状態を有する取引者でもよい。

【0060】

公の顧客は、取引システムの非専門的又は準専門的な投資ユーザでもよく、実際にマーケットメーカー又は専門取引者以外の誰でもよい。自動注文照合システムでは、新しく入来する注文は、特定の取引者の注文に対して先に進む優先度で実行されてもよい（例えば、まず、公の顧客の注文に、次に、マーケットメーカー及び専門取引者の注文及び見積りに対して実行される）。マーケットメーカー及び専門取引者の注文及び見積りに関する入来する注文の分配又は優先度は、マーケットメーカー及び専門取引者の注文又は見積りのサイズに基づいて比例案分でもよい。証券取引所で入来する注文及び見積りと前に入力された注文及び見積りを照合する自動システムは、米国特許第6,618,707号に詳細に記載されており、この文献の全てが参照として取り込まれる。

20

【0061】

このシステムのある実施例では、（秩序のある市場を管理する役目をしてよく、注文を受け付け、特定の一連のオプションの価格を定め、市場専門家の間に取引を割り当ててもよい）専門家は、比例案分の注文量の比較的高い部分を受領してもよい（例えば、前記の役目を受け付ける代わりに、専門家はしばしばピットで生じる取引活動で最小の参加権利を保証される）。例えば、取引控帳の“販売”又は“売り出し”側は、公の顧客が3.5の価格で10の契約の売り出し、プライマリマーケットメーカー（例えば専門家）は、3.5で20の契約を申し出て、専門取引者は、3.5で5の契約を申し出ることを部分的に特徴としてもよい。その後、3.5で30の契約を購入する注文が、照合する反対の注文の間で入札を照合する／割り当てるシステムに送信されてもよい。入札照合システムは、公の顧客の注文が最初に照合され得るため、3.5で10の契約を販売する公の顧客の注文との10の契約を照合して／割り当てて実行してもよい。入札照合システムは、入来する注文に20の契約が残っていることを決定してもよい。

30

【0062】

残りの売り出しと購入注文の残りの部分を照合するために、プライマリマーケットメーカー（“PMM: primary market maker”）の小口注文優先サイズと呼ばれる所定数が確立されてもよい。元の注文のサイズがPMMの小口注文優先サイズより小さい場合、PMMは、購入注文の残りの部分について取引してもよい。ある実施例では、公の顧客の注文が照合された後に、入札照合システムは、入来する注文の元のサイズがPMMの小口注文優先サイズより大きかったことを決定し、これにより、残りの20の契約が割り当てアルゴリズムに従って取引されることを可能にしてもよい。

40

【0063】

この例によれば、最善の売り出し価格でPMMと共に1人の専門取引者が存在するという決定が行われてもよい。20の契約の残りの入来する注文は、PMMが入来する注文の所定の割合（例えば60%）（この例では12の契約）より大きく受領するように割り当てられても

50

よく、入来する注文が照合する全体の未解決の注文に関してPMMの注文の割合より大きく受領するように割り当てられてもよい。この例によれば、PMMは最善の価格で売り出しの契約の80%（専門取引者とPMMとについて25の合計の注文のうち20）を有しているため、PMMは、16の残りの契約を取引する資格が与えられてもよい。

【0064】

従って、この電子取引システムのある実施例では、PMMは、他の取引参加者に対して他の取引参加者より上の、入来する注文の特定の部分に関する優先度を有してもよい。同様に、特定の取引参加者が他の参加者より上の優先度を有することがわかる。例えば、公の顧客は、マーケットメーカー及び専門取引者に対して優先度を有する。これに関して、自動システムの優先度は、ここに開示されるように、優先度を有する優先度販売者から1人以上の優先度取得者に販売又は取引されてもよい。従って、私的な顧客又はPMMは、実行される注文の少ない部分を受け取り、これにより、売買委託手数料又は取引料金の後の再調整で、専門取引者のような低い優先度を有する参加者に優先度を販売してもよい。

【0065】

同様に、ここに開示される優先度取引は、単に価格及び時間に基づいて優先度を適用する取引システムにも適用可能である。一般的に、これらのシステムは、順に注文を照合する。最初に最善の価格に従って注文が照合され、2つの注文が同じ価格を有する場合、取引システムにより受領された最も古いタイムスタンプに従って注文が与えられる。同じ価格での注文は、最も古いものを最初に照合されてもよいが、取引システムをサポートしている後援取引者は、必ずしもこれらの注文に実際に関心を有しているとは限らないが、流動性を支援するために注文を追加してもよい。このような後援取引者及び取引システム提供者は、注文タイムスタンプにかかわらず、後援取引者又はマーケットメーカーの前に他の取引が取引することを選択してもよい。従って、後援取引者は、その優先度を他の取引者に移転してもよい。後援取引者は、同じ価格で同じ側（購入又は入札、販売又は売り出し）で保留している注文を有する他の取引者に時間優先度を販売するように設定された特定の取引アカウントを有してもよい。売買委託手数料又は取引料金調整の形式（これらに限定されない）での金額的な調整は、ここに開示されたように適用されてもよく、これにより、後援取引者は、他の取引者に対して取引機会をあきらめる代わりに、取引で取引料金又は売買委託手数料の減少を受領してもよい。

【0066】

更に他の形式の取引システムでは、最善の価格での注文が比例案分アルゴリズムに従って照合される。これらの取引システムでは、流動性を支援するために注文を追加することにより取引システムをサポートしている後援取引者はまた、取引に特に関心がなくてもよく、後援取引者及び取引システム提供者は、比例案分アルゴリズムに従って後援取引者により取得された優先度を、同じ価格で同じ側（購入又は入札側、販売又は売り出し側）で低い優先度を有する他の取引者に販売することを選択してもよい。取引システムはまた、取引に利用可能な量又は数量を最も必要としている取引者に再分配するように、これらの取引アルゴリズムに適用してもよい。売買委託手数料又は取引料金調整の形式（これらに限定されない）での金額的な調整も適用されてもよい。

【0067】

更に他の形式の電子取引システムでは、注文は、一般的にFRQ（request for quote：見積り要求）と呼ばれる形式でもよい。RFQシステムの一実施例では、注文入力ダイアログボックス（“OEDB：order entry dialog box”）は、要求側の取引者に様々なオプション及び入力フィールドを提供してもよい。いくつかのオプション及び入力フィールドを使用して、取引者は、非RFQ取引コマンド（例えば、何らかの適切な商品についての入札コマンド、売り出しコマンド、購入コマンド又は販売コマンドのような標準的な取引コマンド）を提示してもよい。OEDBが起動されると、OEDBのフィールドは、RFQが行われた商品に関する情報で生成されてもよい。商品は、如何なる適切な方法でRFQに含まれるように選択されてもよい。例えば、商品の現在の市場価格は、価格及び/又はサイズのフィールドを自動的に生成し、ユーザが必要な価格及びサイズの変数に迅速に到達することを

可能にしてもよい。

【 0 0 6 8 】

OEDBは、RFQ選択フィールドを提供してもよい。RFQ選択フィールドは、要求側の取引者がOEDBからRFQオプションを選択したときに利用可能になってもよい。このフィールドは、以下に説明するようにRFQ購入オプション、RFQ販売オプション、RFQ双方向オプション、及びRFQ BOLS (Bid/Offer liquidity spread: 入札/売り出し流動性スプレッド) オプションを取引者に提供してもよい。RFQ購入オプション及びRFQ販売オプションは、購入者の位置からのRFQ (購入者は、特定のサイズの商品を購入しようとしており、反対の売り出し見積りが示されることを要求する) と、販売者の位置からのRFQ (販売者は、特定のサイズの商品を販売しようとしており、反対の入札見積りが示されることを要求する) とをそれぞれ提示する機能を要求側の取引者に提供してもよい。1つのオプションは、取引の方向を定めずに (応答者が入札と売り出しとの双方を見積もるように招かれる“双方向”の見積り要求)、RFQを提示する機会を要求側の取引者に提供してもよい。このことにより、要求側の取引者は、市場参加者から入札価格及び売り出し価格を受領することが可能になり得る。1つのオプションは、入札/売り出し流動性スプレッドを指定する機能を要求側の取引者に提供し、これにより、応答者が特定の最大の入札/売り出しスプレッドの双方向の見積りを求めてもよい。

10

【 0 0 6 9 】

最小サイズフィールド、期限フィールド、BOLSフィールド及び価格最小数フィールドは、RFQ選択フィールドに組み込まれてもよいフィールドである。要求側の取引者は、購入又は販売しようとする商品の最小サイズを指定してもよい。フィールドを生成することにより、要求側の取引者は、RFQが市場参加者からの見積りを受領することにどのくらいの期間だけ公開されているかに関する期限を指定してもよい。要求側の取引者が入札/売り出し流動性スプレッド (BOLS) を指定したい場合、要求側の取引者は、BOLS値 (応答者が見積るときに使用する最大の入札/売り出し価格スプレッド) を指定し、オプションを選択することができる。他のフィールドが生成されると、要求側の取引者は、要求に応じて市場参加者から受領する最小数の見積りを指定する機会を有してもよい。

20

【 0 0 7 0 】

OEDBはまた、取引選択フィールドを提供してもよい。この取引選択フィールドは、取引者の好ましい取引形式を示すために使用されてもよく、特定の交換又は取引システムがサポートする何らかの形式の取引を要求側の取引者が選択することを可能にしてもよい。

30

【 0 0 7 1 】

要求側の取引者は、価格パラメータとBOLSパラメータとが提供される双方向RFQ市場で取引保証 (GTT: guarantee-to-trade) オプションを実行してもよい。これは、現在では市場に存在しない可能性がある取引形式である。例えば、GTTは、取引選択フィールドに提供されるオプションでもよい。双方向RFQのGTT状態は、応答者が要求側の取引者により示されたパラメータを満たす場合に、取引が必ず実行されることを要求側が約束することを市場参加者が認識することを可能にするために、市場参加者に特定されてもよい。

【 0 0 7 2 】

OEDBはまた、RFQの自動実行機能を提供してもよい。自動実行機能は、選択されたときに、市場参加者の見積りに自動的に応答するために使用されてもよい。例えば、見積りを受け付けるための要求側の取引者の基準を満たす見積りが受領されると、受け付け確認が自動的に要求側の取引者から送信されてもよく、取引が実行されてもよい。RFQに応じて受信される見積りを管理する他の様々な機能が、OEDBに組み込まれてもよい。

40

【 0 0 7 3 】

OEDBに提供される選択オプション及びフィールドは、何らかの要求側の取引者のニーズ及び嗜好に適合し、ユーザが高速に移動する市場で取引システムの機能を迅速に利用するように再構成されてもよい。構成キーパッドオプションは、OEDBを再構成する機能を要求側の取引者に提供してもよい。クローズ・オン・アクション (close-on-action) ボックスは、選択されたときに、指定の動作が実行された後にOEDBを自動的に閉じさせてもよい

50

。クローズオプションにより、要求側の取引者がオンデマンドでOEDBを閉じることが可能になる。更に、要求側の取引者が単一のボタンの押下で実行される特定の一式の命令を有することを可能にする割り当て可能発行ボタンフィールドが提供されてもよい。発行ボタンは、割り当てボタンオプションを介して相応に構成されてもよい。

【 0 0 7 4 】

前述のRFQ形式の取引を使用する電子取引システムのある実施例では、ある応答者は、他の応答側の取引参加者に対して他の応答側の取引参加者より上の、入来する見積り要求の特定の部分に関して優先度を有してもよい。これらの応答者は、最も早く見積り要求に応答していてもよく、要求者が更に応答の見積りを待機し得るRFQ期間の間に、全ての見積りが集められて（自分の選択で、又は取引要求に対して保証される“GTT”の場合には強制的に）要求側が取引し得るRFQ期間の終了時に、最初に照合する列にいてもよい。多くの応答者がコンピュータモデル及びプログラムを使用してこのような見積り要求に自動的に応答するため、要求者との取引にあまり関心がないことがある。見積り要求の取引にはしばしば、成功した応答者は“勝者の言葉（winner's curse）”を受け、これにより、成功した応答取引は、しばしば一瞬に失うことになる。応答者が同じ価格で他の応答者と並行して最初に取り引するように並んでいる場合、実際に取引されることに比較的無関心であり、ここに説明したように、このような時間優先度を優先度取得者に販売することを選択してもよい。

【 0 0 7 5 】

[“販売” キー]

ここに開示されるシステム及び方法の多くの実施例では、参加者は、それぞれ優先度販売者又は優先度取得者から更なる動作なしに、初期設定で又は自動的に優先度を販売又は取得するように設定されていない。また、注文毎に優先度の販売を利用することが許可されていないことがある。ユーザが適切なインタフェース画面等で入札若しくは売り出し又は購入若しくは販売を入力すると、ユーザは、“販売”キーを使用することを許可されてもよい。“販売”キーは、ユーザがここに開示されたように優先度を取引又は取得するための如何なる適切な方法で実装されてもよく、画面上でインジケータ又はポインタを移動させてマウスのボタンを押下し、優先度を販売する意図を示すように参加者が情報を入力すること又は装置に表示された情報を選択することを可能にする装置にあるボタン又は他の形式のキーパッド、マウス、トラックボール、Blackberry（商標）若しくは他の適切な入力装置を起動することにより、起動可能なディスプレイ画面の領域を有してもよい。販売キーにより、優先度販売者は、優先度の権利を有する現在の参加者若しくは優先参加者又は非優先参加者としての参加者の状態に応じ得る優先度を販売又は取得する命令を取引システムに送信し、取引システムが受信することが可能になる。

【 0 0 7 6 】

“販売”キーは、(1)取引優先度の存在する状態の前に最初に、又は(2)取引優先度の存在する状態の後に、ユーザが取引を終了して残りの取引優先度を販売するか否かを検討しているときに、取引の優先参加者になるために、受動的又は能動的な現在の参加者により前述のヒット及びリフトシステムで使用されてもよい。

【 0 0 7 7 】

優先度が“販売”キーを使用して販売されると、前述の優先度規則は、優先度が初期設定で販売されたように継続してもよい。

【 0 0 7 8 】

他の取引システムでは、“販売”キーは同じ形式で使用されてもよい。ユーザは、初期設定で行わないように設定されていない限り、臨時で優先度を販売することを決定してもよい。

【 0 0 7 9 】

取引システムでの“販売”機能の存在により、取引アルゴリズムが、使用されるときに、金銭的な利益がそれを使用するインセンティブをユーザに与える場合には特に、照合アルゴリズムを迅速に実行することが可能になる。多くの取引アルゴリズムのある時点では

、取引は、ユーザが取引の決定を行うことを許容されるために割り当てられた期間の終了を待機するように一瞬に延期される。取引ユーザは、“販売”を押下することにより、決定を予め決めて、注文の開始時に優先度を販売することを可能にしてもよい。或いは、取引優先度がそのユーザに対して現在ある場合、又は取引照合アルゴリズムの進行中にそのようになる可能性のある場合、その取引のその時以来に優先度の迅速な販売を可能にしてもよい。このことにより、取引アルゴリズムが技術的に迅速に処理することが可能になり、更なる量が所定の時間取引システムにより処理されることが可能になるように取引の速度を増加させる。

【0080】

図3は、ここに開示された方法及びシステムのある実施例により使用される電子取引インタフェース300を示している。インタフェース300により、参加者は、取引されるアイテムについて、選択価格及び量又は数量で入札及び売り出し（一般的には注文）をシステムに入力することが可能になる。インタフェースは、トップライン301（代替としてここではタッチライン又はヘッドラインと呼ばれる）を有する。トップライン301は、実際に行われる取引（例えば優先取引セッションの取引）の状態を示す前述のリストを有する。代替として又は更に、トップライン301は、取引を開始するために最初に行われる価格又は行われるべき価格を有するように適合されてもよい。いずれの場合でも、典型的には、トップライン301は、特定の商品の取引についての表示領域の上部に配置される。以下では、表示領域は“ディスプレイ”と呼ばれることがある。トップライン301は、アイテム302と、アイテムの価格304と、最後の取引活動305と、取引されたサイズ306と、現在の参加者についての優先スタックの入札側のサイズ及び優先スタックの売り出し側のサイズ307とに関する情報を有してもよい。インタフェース300はまた、最善のヘッドライン又はタッチライン価格の下の数値の入札及びその上の数値の売り出しを有し、取引されていないアイテムの注文の価格及びサイズを示す市場深度情報310を有する。上の数値の入札及び下の数値の売り出しは、一般的に注文控帳又は単に“控帳（book）”として知られる。活動中の取引と同じ価格レベルでの注文は、同様に時間優先度に基づいて構成される。一般的に、注文控帳の注文は、スタックの非優先位置にあり、トップラインに示すリストは、スタックの優先位置を有する。出来高（yield）として取引されるシステムでは、最善のヘッドライン又はタッチライン価格より入札は数値的に高く、売り出しは数値的に低い。また、それぞれ入札及び売り出しスタック312及び314がインタフェース300に図示されている。入札及び売り出しスタック312及び314は、現在のヘッドライン価格304で入札又は売り出しを行っている1つ又は複数の市場参加者についての入札又は売り出しのサイズを示してもよい。この例での価格304（100.132で示す）は、従来の米国政府債権価格フォーマットで示されている。

【0081】

本発明の多くの実施例では、優先度が取引中に利用可能になると、システムは、市場のどちらの側（入札、購入又は売り出し、販売）に利用可能な優先度が関係するかのハイライト又は他の指標（一実施例で見えるようなハイライトを示す円316を参照のこと）をフラッシュしてもよい。フラッシュは、優先度が使用するために利用可能になった場合にのみ示されてもよく、優先度が取得され得る取引側（購入又は販売）で示されてもよく、代替として、優先度が取得され得る反対の取引サイズで示されてもよい。優先度が取得されたとき、又は優先度がもはや利用可能でないときに、ハイライトが消滅してもよい。インタフェースは有してもよい。

【0082】

優先度を取得した後に優先度取得者が販売を押下すると、何らかの残りの優先度が、存在する場合には待機している次の潜在的な優先度取得者に渡されてもよい。従って、最初の優先度取得者は、同様に優先度販売者になる。このような状況で、以下の規則が適用されてもよい。

【0083】

（前述の）最初の優先度取得者ラベルが、次に残りの優先度を販売し得るこの優先度取

10

20

30

40

50

得顧客に関する第2の優先度販売者ラベルとして使用されてもよい。

【0084】

このように優先度が第2の優先度取得者に渡されると、この第2の優先度取得者に関して第2の優先度取得者ラベルが記録されてもよい。

【0085】

最初の優先度取得者ラベルは、どのくらいの余分な売買委託手数料が最初の優先度販売者に支払うために利用可能であるかを指示してもよく、何らかの次の第2（又は第3、第4等）の優先度取得者ラベルもまた、最初の優先度販売者の利用可能な金額として累積的に使用されてもよい。

【0086】

一実施例では、売買委託手数料又は取引料金の減少に関する最初の優先度販売者の義務が満たされたときに、次の優先度販売者（すなわち、“販売”を押下する前の元の優先度取得者であった参加者）の売買委託手数料のコストを減少させるように、更なる利用可能な優先度取得者の金額が利用可能にされてもよい。このことは、販売を押下した優先度取得者が、(1)取引される次の量についての優先度販売者のリポートに適することになり、(2)実行した量により制限され、(3)元の販売者が資格を有していた最大量の優先度販売者のリポートの超過に制限されることを意味する。他の適切な構成も可能である。

【0087】

従って、電子取引システムで優先度を販売及び取得するシステム及び方法が提供される。前述のものは、本発明の原理の単なる例であり、本発明の範囲及び要旨を逸脱することなく、当業者により様々な変形が行われ得ることがわかる。

【図面の簡単な説明】

【0088】

【図1】本発明のある実施例によるシステムの電子実装の図

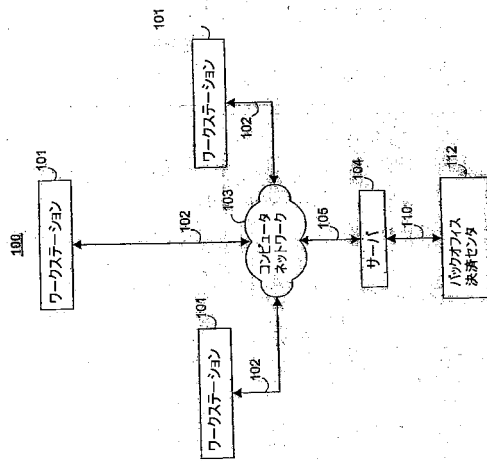
【図2】本発明のある実施例によるシステムの電子実装の更に詳細な図

【図3】本発明のある実施例による電子取引インターフェースの図

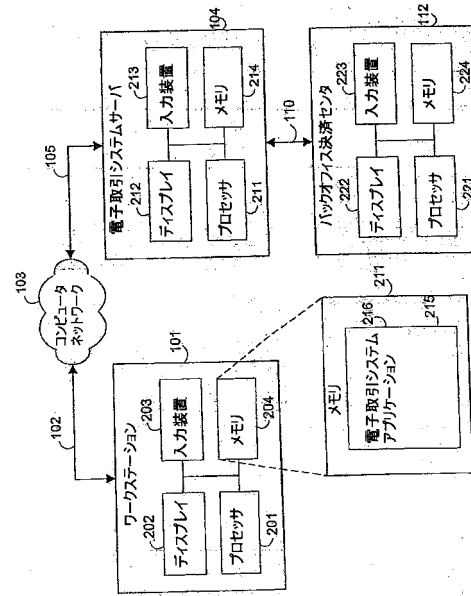
10

20

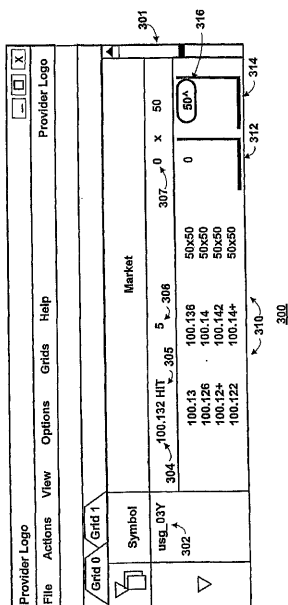
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

(72)発明者 ラットニック, ハワード, ダブリュー

アメリカ合衆国 ニューヨーク州 10021, ニューヨーク, イースト・71ス・ストリート
11

(72)発明者 スウィーティング, マイケル

イギリス国 ジーユー11 3エルズイー ハンプシャー, オルダーショット, エイリング・レー
ン, イネズ・ハウス 10

審査官 小島 哲次

(56)参考文献 特表2002-533816(JP, A)

特開2004-151764(JP, A)

特開2002-197281(JP, A)

特開2001-134641(JP, A)

国際公開第2004/010366(WO, A2)

国際公開第2004/042514(WO, A2)

特表2003-525480(JP, A)

特開2004-086752(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00~50/34